

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社スタメン 上場取引所 東
 コード番号 4019 URL <http://stmn.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 大西 泰平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CAO (氏名) 中谷 奈緒美 TEL 052 (990) 2470
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,939	43.6	164	49.4	165	49.8	51	△39.7
2023年12月期第3四半期	1,350	—	109	—	110	—	84	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 51百万円 (△39.7%) 2023年12月期第3四半期 84百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	5.88	5.82
2023年12月期第3四半期	9.92	9.66

(注) 2022年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,007	1,254	60.5
2023年12月期	1,838	1,215	64.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,215百万円 2023年12月期 1,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2024年12月期	—	0.00	—		
2024年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	38.4	100	△39.3	100	△38.5	50	△60.1	5.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 業績予想の修正については、本日（2024年11月14日）公表いたしました「2024年12月期 連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	8,741,000株	2023年12月期	8,671,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	61株	2023年12月期	24株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	8,697,006株	2023年12月期3Q	8,558,035株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」という当社の経営理念をグループビジョンとして、世の中に良い影響力を与えるサービスを、「期待を超える＝感動」のエッセンスに徹底してこだわり、提供していくことを企業のミッションとしております。

主要サービスであるエンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」及びコミュニティ運営プラットフォーム「FANTS（ファンツ）」を事業軸として事業拡大を進め、創業事業であるエンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」を通じて得た知見を活かし、100%子会社である「株式会社STAGE」を2021年に設立し、エンゲージメント経営を人材採用の視点から支援する新しい人材紹介事業の運営を開始しております。また、意思決定の迅速化のため、100%子会社である「株式会社スタジアム」を2023年1月に設立し、「FANTS」の更なる事業展開を進めております。2023年2月にはクラウドセキュリティサービス「漏洩チェッカー」の提供を開始しました。

当社グループが従業員エンゲージメント事業として提供している「TUNAG」及びコミュニティエンゲージメント事業として提供している「FANTS」ともに、成長性の高い市場を領域に属していると認識しております。「TUNAG」につきましては、テクノロジーの進化や働き方に対する価値観の変化が急激に進むこの時代に、事業や会社の長期的な成長を左右するのは「人と組織」の強さと捉えて、企業と従業員、そして従業員同士の相互信頼関係であるエンゲージメントの高い会社作りを推進するサービスを展開しております。生産年齢人口の減少が続き、人材定着や離職改善への意識は今後一層高まっていくことが予想され、最近のHR Techの展示会でエンゲージメントにフォーカスしたサービスが取り扱われ、また、エンゲージメント関連の書籍の出版も増えております。「FANTS」につきましても、SNSの発達によって個人による情報発信の機会が広がる中で、オンラインサロン市場が拡大しております。サロンの開設者としても著名人からSNS上でフォロワーが多い一般人等に広がり、利用者としても若年層・ネットユーザーを中心に認知度を高めております。その中で、当社グループは、「企業向けのエンゲージメント市場」と「コミュニティ向けのエンゲージメント市場」の2つのエンゲージメント領域で、企業向け、コミュニティ向けの異なる市場を開拓することで、グループで培ったノウハウを活かし、多面的な収益拡大を図ってまいります。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高1,939,358千円（前年同四半期比43.6%増）、営業利益164,072千円（前年同四半期比49.4%増）、経常利益165,370千円（前年同四半期比49.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益51,164千円（前年同四半期比39.7%減）となりました。

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。そのため、当第3四半期連結累計期間における実績を事業部門別に記載しております。事業部門別の概況は次のとおりであります。

（従業員エンゲージメント事業「TUNAG（ツナグ）」）

従業員エンゲージメント事業は、Webマーケティングの強化やWeb商談の活用により、潜在的な需要へのアプローチに注力してきました。加えて、利用企業向けのオンラインイベントの開催など利用企業の支援（カスタマーサクセス）の強化、タクシー広告などのプロモーション活動にも取り組んでおります。その結果、エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」は堅調に成長を続け、2024年9月末時点での利用企業数は972社（前年同四半期比261社増）、平均MRRは195千円（前年同四半期比7千円増）となりました。

（コミュニティエンゲージメント事業「FANTS（ファンツ）」）

コミュニティエンゲージメント事業は、「TUNAG」が保有する組織運営・組織活性化に有用な多数の機能をコミュニティ運営向けに拡張・再構築し、2020年5月よりコミュニティ運営プラットフォーム「FANTS」の提供を開始しました。運営コミュニティの精査と戦略変更により、運営コミュニティ件数が増加し、売上高の成長性は上昇基調に回帰しています。その結果、コミュニティ運営プラットフォーム「FANTS」の2024年9月末時点での運営コミュニティ件数は166件（前年同四半期比26社増）、平均MRRは79千円（前年同四半期比13千円減）となりました。

（人材紹介事業「STAGE（ステージ）」）

人材紹介事業は、エンゲージメント経営を人材採用の視点から支援する新しい人材紹介事業として2022年4月から本格的に事業を開始しました。当第3四半期連結累計期間においては、市場開拓や知名度向上のための成長投資コストが先行して発生している状況ではありますが、事業計画達成に向け着実に市場規模を広げていております。

（注）平均MRR：対象月末時点における月額利用料の合計を利用企業数、運営コミュニティ件数で除した金額です。
一時的な売上高は含みません。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ169,521千円増加し、2,007,788千円となりました。これは、主にその他の流動資産が46,656千円減少した一方で、現金及び預金が163,529千円、売掛金が25,607千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ130,337千円増加し、753,058千円となりました。これは、主にその他の流動負債が21,867千円減少した一方で、未払法人税等が104,191千円、契約負債が34,457千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ39,183千円増加し、1,254,729千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当の支払いにより利益剰余金が16,480千円、新株予約権の権利行使等により資本金が7,000千円、資本剰余金が7,000千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、当初予想を上回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2024年11月14日）公表いたしました「2024年12月期 連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,677	1,557,207
売掛金	34,596	60,203
商品	3,441	3,017
その他	154,398	107,742
流動資産合計	1,586,113	1,728,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	119,653	124,911
その他(純額)	14,912	23,082
有形固定資産合計	134,565	147,993
無形固定資産		
	17,034	14,068
投資その他の資産		
その他	102,537	121,458
貸倒引当金	△1,984	△3,903
投資その他の資産合計	100,553	117,555
固定資産合計	252,153	279,617
資産合計	1,838,267	2,007,788
負債の部		
流動負債		
未払金	77,009	85,438
未払費用	100,122	109,544
契約負債	295,769	330,226
未払法人税等	4,393	108,585
その他	96,873	75,005
流動負債合計	574,168	708,800
固定負債		
長期借入金	18,358	8,345
資産除去債務	22,178	27,896
その他	8,016	8,016
固定負債合計	48,552	44,257
負債合計	622,721	753,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	71,500	78,500
資本剰余金	1,000,959	1,007,959
利益剰余金	112,681	129,162
自己株式	△35	△59
株主資本合計	1,185,106	1,215,563
新株予約権	30,439	39,166
純資産合計	1,215,545	1,254,729
負債純資産合計	1,838,267	2,007,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,350,278	1,939,358
売上原価	303,590	433,376
売上総利益	1,046,688	1,505,982
販売費及び一般管理費	936,842	1,341,909
営業利益	109,845	164,072
営業外収益		
受取利息	8	97
助成金収入	75	—
ポイント還元収入	1,539	2,938
その他	1,087	1,030
営業外収益合計	2,710	4,066
営業外費用		
支払利息	212	165
固定資産除却損	1,943	—
投資事業組合運用損	—	1,841
解約違約金	—	662
その他	0	100
営業外費用合計	2,156	2,768
経常利益	110,400	165,370
税金等調整前四半期純利益	110,400	165,370
法人税等	25,543	114,205
四半期純利益	84,856	51,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,856	51,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	84,856	51,164
四半期包括利益	84,856	51,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,856	51,164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

当社は、2023年5月12日に資本金の額の減少及び剰余金の処分（欠損填補）を行いました。これにより、資本金が560,400千円減少し、資本剰余金が560,400千円増加しました。また、増加した資本剰余金のうち131,340千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

また、新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金が16,000千円、資本剰余金が16,000千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至2024年9月30日）

新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金が7,000千円、資本剰余金が7,000千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	19,322千円	22,827千円